#### 令和元年度 第4回 海老名市総合教育会議 次第

日時: 令和2年2月22日(土) 午前10時~ 場所: えびな市民活動センター ビナレッジ

ビナレッジホール

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 海老名市オリンピック・パラリンピック教育について
  - (2) 海老名市修学旅行検討委員会検討結果について
  - (3) 海老名市学校給食検討委員会検討結果について
  - (4) その他
- 4 学校紹介(有鹿小学校)
- 5 閉会

# 令和元年度

# 第4回 総合教育会議

令和2年2月22日(土)午前10時

えびな市民活動センター ビナレッジ

ビナレッジホール

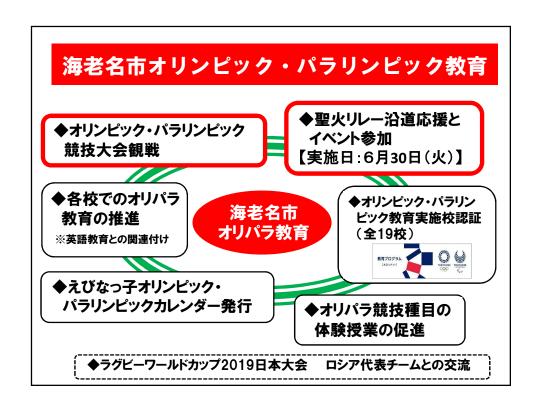
# 協議事項1

# 海老名市 オリンピック・ パラリンピック 教育について

#### 海老名市オリンピック・パラリンピック教育

### ■目的■

東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会等の開催を契機に、次世代を 担う海老名の子どもたちにとって一生の 財産として心に残るような機会を提供す るとともに、スポーツを通じて国際理解の 促進を図る。





# 海老名市オリンピック・パラリンピック教育

#### ◆オリンピック・パラリンピック 競技大会観戦

#### 海老名市教育委員会が入手予定の学校連携観戦チケット枚数

大会	会場	競技·種目	日 時	枚数
		野球	8月1日(土) (12:00-15:00)	1,750
オリ	横浜スタジアム	野球<夜間> 8月4日(火) (19:00-22:00)	510	
オリンピック	(現代ペプン) ム	ソフトボール	7月25日(土) (14:30-16:30)	4,450
ック		ソフトボール	7月27日(月) (14:30-16:30)	4,080
	横浜国際 総合競技場	サッカー<夜間>	7月23日(木) (17:30-22:30)	6,020
パラリン ピック	新国立競技場	陸上競技	8月29日(土) (9:30-13:00)	<b>195</b> 車いす席5含む

合 計 17,005

## 海老名市オリンピック・パラリンピック教育

- ◆オリンピック・パラリンピック 競技大会観戦
- ◆学校連携観戦チケット対象者 希望する児童生徒(令和2年度市内小中学校に在籍)、 付き添い保護者、引率教員、その他学校関係者等
- ◆学校連携観戦チケットの各学校割り当て枚数 市内小中学校へ在籍児童生徒数に応じて割り当てる。
- ◆学校連携観戦チケット申し込み方法【予定】 令和2年5月頃に、観戦を希望する競技を申し込む。
- ◆学校連携観戦チケットの決定方法【予定】 できるだけ申し込み希望に添えるよう観戦競技を決定 (抽選含む)する。

## 海老名市オリンピック・パラリンピック教育



令和2年7月24日(金) 東京2020オリンピック競技大会 開会式







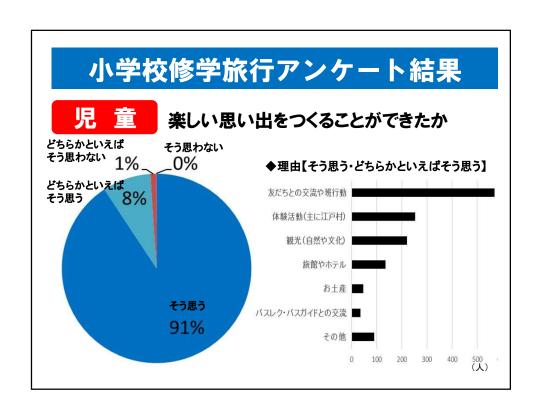
協議事項2

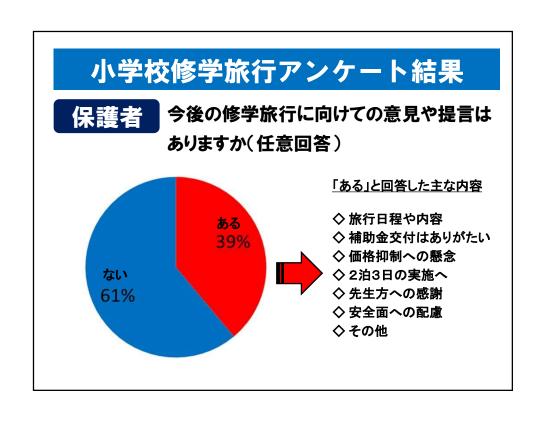
海老名市 修学旅行 検討委員会

検討結果について

令和元年度

小学校修学旅行 アンケート結果





#### ◆ 検討委員会の目的

海老名市立小中学校における**今後の修学旅行の** 在り方および修学旅行にかかる保護者負担経費に ついて検討協議し、海老名市の方針を定めるため の報告書を作成する。

### ◆ 検討委員会の構成

委員長 海老名市教育委員会教育部長 委 員 学校長(小中各1名)、教頭(小中各1名)

総括教諭(小中各1名)、PTA会長代表1名

保護者代表(小中各1名) 海老名市教育委員会3名

計13名

# 海老名市修学旅行検討委員会

### ◆ 検討の経過

#### 【主な内容】

- 〇 小中学校修学旅行の現状と課題
- 〇 旅行会社からのヒアリング
- 〇 小中学校修学旅行アンケート(児童生徒+保護者)
- 〇 修学旅行の方向性
- 〇 保護者負担軽減の方向性



#### 報告書(令和2年3月)

小中学校修学旅行についての提言

- ◆【提言①】 今後の修学旅行の在り方について(案)
- 〇 児童生徒の安全を最優先とする。
- 〇 児童生徒に対しては、参加意欲を高めるよう努める。
- 旅行先でしか体験できない活動を豊富に取り入れる。
- 保護者に対しては、事前に目的、日程、経費などに ついて説明会を開催するなどして説明責任を果たす。
- 災害などの不測の事態や食物アレルギー等に適切 に対応する。

# 海老名市修学旅行検討委員会

- ◆【提言①】 今後の修学旅行の在り方について(案)
- 〇民泊型修学旅行を実施する場合には…
  - 民泊先での体験活動等に大きな差が生じないように 配慮すること。
  - ・民泊先の安全・衛生面については、必要に応じて 配慮すること。

- ◆【提言②】 保護者負担経費について(案)
- 一部の小学校においては、<mark>試行的に競争入札</mark>により 旅行業者を選定し、今後の修学旅行費用を抑制する 方法について研究していく。 ただし、質的低下を招くことがないよう配慮する。
- 中学校においては、プロポーザル方式により旅行業者を選定する際に、修学旅行の目的等を優先事項としながら、修学旅行費用の設定についても配慮する。

# 海老名市修学旅行検討委員会

- ◆【提言②】 保護者負担経費について(案)
- 〇 市が<mark>学校旅行中止費用保険</mark>に加入することを 検討していく。

### 【参考】学校旅行中止費用保険

修学旅行等の学校旅行が、不測かつ突発的な 事由により中止または延期となった場合に、中止 費用(旅行準備のためにすでに支出していた費 用)等に対して保険金を支払う保険のこと

「海老名市立小中学校修学旅行の 今後の在り方について」

報告書

令和2年3月 海老名市修学旅行検討委員会

協議事項3

海老名市学校 給食検討委員会

検討結果について

### ◆ 検討委員会の目的

- ★近年の「食」を取り巻く課題や食育の推進などを踏まえて
- ①今後の学校給食のあり方を協議する
- ②安全安心な給食を提供するための施設整備について検討する
- ③海老名市としての方針を定め、報告書にまとめる。



# 海老名市学校給食検討委員会

## ◆ 検討委員会の構成

•学識経験者 1名

### 保護者代表

- ·単P会長代表 1名
- ·保護者代表 小中学校 各1名

### 市・教育委員会

- •市長部局代表 1名
- •教育委員会 4名

#### 学校代表

•校長会代表

小中学校 各1名

•教頭会代表

小中学校 各1名

•総括教諭代表

小中学校 各1名

•栄養教諭

1名

計16名

11

### ◆ 検討課題

### 小学校給食

「おいしい」「魅力ある給食の提供」

・学校給食の改善・給食費の見直し

### 中学校給食

これからの中学校給食の方向性

- •中学校給食の再開の検討
- ・中学校給食の運用方法



# 海老名市学校給食検討委員会

### ◆ アンケート実施

#### 児童・生徒・教職員

▼ 対象者数

児童:1,155名 生徒:588名 教職員(小:327名 中:168名)

▼ 調査方法 質問紙にて実施

#### 保護者

▼ 対象者数 小学校:2,346名 中学校:1,104名

▼ 調査方法

学校メールにて実施

# 実態把握 ニーズ調査





## ◆ 小学校給食について

# 課題「おいしい給食」「魅力ある給食の提供」

- (1) 献立の工夫(メニューのバリエーション)
- ② 食の指導の充実(同じものを食べて思いを共有)
- ③ 家庭・地域・学校と給食施設の連携

#### 4 給食費について

- ・ 平成21年度に改定以降、10年間変更なし
- 4.000円×11月=44.000円(年額) 年間185食想定
- 消費税率の引き上げ(H21:5% ⇒ R1:一部10%)
- 牛乳、米飯単価の増加
- ・ 地産地消食材購入経費として市の予算800万円を投入

#### 海老名市学校給食検討委員会 神奈川県内の給食費 給食費について① 神奈川県 学校給食費 (小学校) 平成30年5月1日現在 食材の価格変動 食材の価格変動(税抜き) 一部抜粋 塩 じゃが みかん 豚肉 砂糖 熱油 こん グリン さんま ヒレ 冷凍 にゃく ピース 背開き カツ みかん 670 260 400 22 83 H21年 159 2390 345 120 33 R元年 170 2780 380 138 950 340 990 29 92 43 **新上**汀率 6.9% 55.6% 41.8% 30.8% 147.5% 31.8% 10.8% 30.3% 献立による価格変動(税込み) 献立名 H21年 R元年 値上げ率 ボークシチュー・きゃべつコーン/テー・アップルシャーペット・ロールパン・牛乳 228.22 274.32 20.2% 麻婆豆腐・和風チャプチェ・みかん・ごはん・牛乳 202. 42 266. 32 31. 6% 肉じゃが煮・豆サラダ・ごはん・牛乳 168, 31 203, 62 21, 0% ·食当たりのおかずの 費用が抑制

◆ 給食費について②

#### 検討委員会での方向性

- ・平成21年度以降、食材の価格は高騰
- 牛乳、ごはんの価格も同様に高騰
- ・給食費は、近隣市に比べて安価
- おかずに充てられる給食費の抑制



「おいしい・魅力ある給食」を提供するために は、給食費の見直しが必要

## 海老名市学校給食検討委員会

◆ 中学校給食 再開について①

#### 中学校給食再開に向けた検討委員会での意見

- ・食生活の変化・女性の社会進出など社会情勢の変化に伴い、 給食の再開は必要なのではないか。
- 中学校給食の実施は、保護者の負担軽減につながる。
- ・夏場の部活の朝練の日は、持たせた弁当が不安である。
- ・少子高齢化も進む中、もし施設をつくるなら、小中学生の給 食のためだけではなく、高齢者のためにも活用できるとよい。

#### 検討委員会での方向性

中学校給食を再開する。

また、再開にあたっては市内全6中学校を同時に 早期実施することが望ましい。

# ◆ 中学校給食 再開について②

#### 実施方式 概要

#### ▼センター方式

概要 複数の学校の給食を一括して調理し、 各学校へ配送する方式
・各校同時に早期に開始できる。
・施設・設備を一括で管理することができる。
・ 相当の敷地・施設が必要
・ 配送に伴う費用が必要

導入費用 約21億7千万円 ※土地購入費用を含む

#### ▼親子方式

1 450 3	73 -4
概要	調理場をもつ自校方式の学校(親)が調理場
	を持たない学校(子)の給食も行い、配送する。
メリット	・複数校の調理を行うことで、効率的な運営が
, , , , ,	可能
デメリット	・親となる学校に相当の敷地が必要
	・配送に伴う費用が必要
導入費用	約32億円 ※2施設建設
<b>等八</b> 复用	利3218日 次2池改建設

#### ▼自校方式

概要	学校内の給食室で調理したものを 当該校の生徒が喫食する方式		
メリット	・調理から喫食までの時間が短い ・生徒と調理員のコミュニケーションが図れる		
デメリット	<ul><li>・各学校に敷地が必要</li><li>・開始時期に差がでる</li></ul>		
導入費用	約30億円 ※1校あたり5億円		

#### ▼給食弁当注文方式

概要	民間業者の調理施設で調理したものを 各校に配送する方式(選択制)
メリット	<ul><li>選択制をとることができる</li><li>配膳に時間がかからない</li></ul>
デメリット	・期限後(現在は1カ月前)の注文に対応がで きない

※導入費用:市内6中学校 4,000食対応で積算。 積算は概算であり、諸条件の変更により大きく 変動する場合あり。

# 海老名市学校給食検討委員会

# ◆ 中学校給食 再開について③



#### 検討委員会での意見

- ●自校方式だと、作っている人の顔が見えてよいが、施設建設から考えると各学校の 敷地やコストの面から厳しいのではないか。
- ●センター方式でも、食缶を二重にするなど工夫をすることであたたかいものは提供できる。
- ●中学校給食の実現は「小学校から中学校へつなげる」イメージだと思う。
- ●現実を考えるとセンター方式かと思うが、自校方式がよい。まずセンター方式で スタートし、ゆくゆくは状況に合わせて自校方式に変えていくのもよいのではないか。

#### 検討委員会での方向性

- ●市内全6中学校を同時に早期実施するにはセンター方式が望ましい。
- ●建設に際しては、市有財産を有効活用するなどコストについても十分検討すること。
- 自校方式についてのメリットは十分に考えられるので、学校施設再整備との整合性 を踏まえながら長期的な研究を進める。
- ●市を取り巻く様々な状況を踏まえ、最適な実施方式を選択できるよう検討を進める。

◆ 学校給食シンポジウム(中間報告) ①

「小学校給食の改善」「中学校給食の方向性」について、市民に検討内容を報告し、意見をいただきながら、今後の学校給食について参考にする。

#### 開催について

- ○開催日 令和2年2月2日(日) 14:00~15:30
- 〇開催場所 海老名市役所 4階 401会議室
- 〇参加者 小中学校保護者 教職員 一般の方(市民)等 36名





# 海老名市学校給食検討委員会

◆ 学校給食シンポジウム(中間報告) ②

#### 内容について

- ①基調講演
  - 〇講 師 鎌倉女子大学 家政学部

准教授 大中 佳子 氏

〇テーマ 「これからの学校給食にもとめられること」

「県内市町村における中学校給食の取組」

- ②パネルディスカッション
  - 〇協議1 「学校給食アンケートの報告」
  - 〇協議2 「小学校給食について」

(学校給食の改善・給食費について)

〇協議3 「中学校給食について」

(中学校給食の再開・実施方法について)

# 第8回海老名市学校給食 検討委員会 2月17日実施

【提言】 小学校給食について 中学校給食について

協議事項4

その他

# 情報提供

# 学校での集金に ついて

# 学校での集金について

## ◆ 現状

給食費を除く学校徴収金及び任意の集金等を、現金 集金している学校が多い。(19校中15校)

### ◆ 学校で現金集金されるものの例

種類	徴収/任意	金額	集金する人
小学校教材費	徴収	5,000円程度・年2回(実績払い)	教職員
中学校教材費	徴収	10,000円程度・年2〜3回(概算払い) 実績に応じて年度末返金	教職員
修学旅行	徴収	小学校10,000円程度(一括) 中学校50,000円程度(分割・一括)	教職員・旅行業者
PTA会費	徴収 (非会員は徴収しない)	3,000円程度(年1回)	P T A役員(保護者) 教職員

# 学校での集金について

- ◆ 学校で現金を取扱うことの課題点
  - ●児童生徒が現金を持参することのリスク
  - ●教職員が集金することのリスクと負担感
  - ●現金が一時的に学校に保管されるリスク
- ◆ 海老名市の現在の状況
  - ●給食費はすべて口座引落
  - ●給食費を除く集金 小学校 全13校で現金徴収 中学校 6校中4校で**口座引落**

# 学校での集金について

# ◆ 今後について

令和2年度 有鹿小学校(教材費、 行事費等)で試行的に口座引落を実 施。

検証結果をもとに順次導入を検討する。